

映画鑑賞アンケートを用いた職業別の満足度に関する研究

Analysis of degree of satisfaction in

H-2 movie-viewing questionnaire based on the occupation

岸 麗生[†]原 一之[†]本村 陽一^{††}[†]Kazuki KISHI[†]Kazuyuki HARA^{††}Yoichi Motomura[†]日本大学生産工学部電気電子工学科^{††}産業技術総合研究所[†]Nihon University^{††}National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

1. はじめに

本研究では、アンケートの調査結果より満足度に影響を与える原因を職業別に求める。それにより、満足度の高い映画推薦システムを構築できると考えた。

2. データベース

データベースとは大量のデータを集め管理し、簡潔に検索できるようにするデータ管理方式である。また、SQLite とはリレーショナルデータベースという、データをテーブルという表示形式の構造で管理するデータベースの操作を行うための言語の一つである。我々はこれらを用いて産業総合研究所所有の映画鑑賞アンケートの解析を行った。

3. 研究方法

SQLite と Excel を使い SQLite マネージャーに取り込み条件を付け解析する。今回は映画を鑑賞し終わった後の満足度に対する質問 76~101 を使用する。

4. 結果

下記の Fig1、Fig2 は質問 76~101 までのアンケートの解答を、満足したという解答番号 1~4 までを職業別で取り出し、取り出した職業の全体の数で割ったものである。

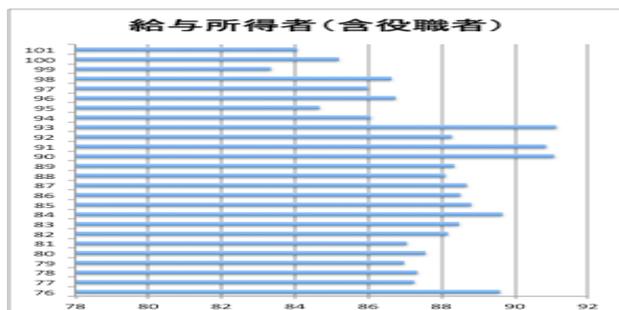


Fig1.給与所得者の満足度

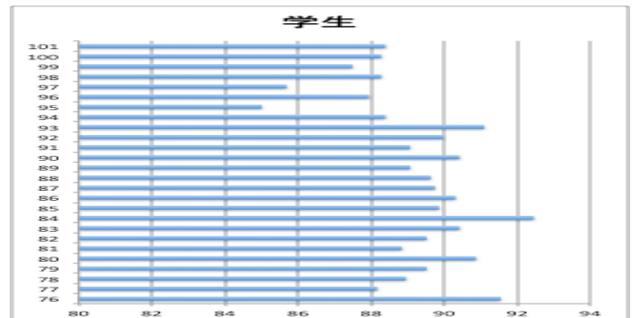


Fig2.学生の満足度

Fig. 1 は 93 番 (映画を見て間を持たせること) に対して満足度が最も高く、Fig. 2 では 84 番 (自分とは違う境遇にある人々の生き方や考え方の理解) について満足度が最も高いことがわかる。

5. 考察

結果から、Fig1 (給与所得者) では 90~93 番の質問 (のんびり過ごすなど) に対し、満足度が高くなっており、のんびりとした時間を過ごすことで満足を得ていると考えられる。Fig2 (学生) では、76 番、84 番 (情報収集など) が高くなっている。このことから、興味のある出来事などの情報収集をすること、また、自分とは違う境遇にある人々の生き方や考え方を理解することに関して満足を得ているのではないかと考えられる。

6. 参考文献

- [1] 西沢直木「SQLite 入門 すぐに使える軽快軽量データベースエンジン」
- [2] 田中啓悟「日本大学生産工学部電気電子工学科卒業論文 映画鑑賞アンケートの統計的性質の解析」